

月の舟通信

2018年10月 No.84

八四、敬天愛人の実践

彼岸花、栗の実、うろこ雲。空も大地も秋模様のかごしま。あの猛暑の日々が嘘のように涼しくなりました。

「きりしま西郷どんコンサート」は秋晴れのなか、抱き合わせの美味しいものツアーも満員御礼、昼夜ともたくさんの方にご来場いただき、賑やかに美しく開催できました。ご参加の皆様から感謝申し上げます。

長年積み上げ、蒔いてきた文化活動の種が一気に花開き、チームきよらの出演者たちは霧島のホテルロビーで美しく芸術的才能を發揮し、理事長もわたしも上機嫌。

「気品高く感動した」との声をたくさん頂き、心から愉しむイベントとなりました。

月の舟で西郷さんのことをこつこつと勉強してきた甲斐がありました。バスツアーでも「敬天愛人の実践の日ですよ」とご参加の皆様

きみことワインを 2018

様にお声かけし、わたし自身も敬天愛人の思想をベースに行動しようとして誓ったこの日。儒教の仁、仏教の慈愛、キリスト教の隣人愛がぎゅっしり詰まった「敬天愛人」は、宗教や国境を越えて、二十一世紀

のわたしたちの支えになります。いま、なのはなクラスで西郷さんの漢詩を読んでいます。ご一緒に敬天愛人の世界に浸りましょう。

八月の須賀敦子×向田邦子の続編を小林潤司先生がコバジュン随談クラスでやってくださいます。このビッグな須賀×向田を、秋の陽射しのなかで、さらに深く豊かに味わいます。

川端マラソンもいよいよ佳境に入ってきました。十一月は川端文学がご専門の三浦卓先生をゲストに、皆でわいわいおしゃべりしましょう。

小水力発電の現地視察と西郷さんとイラストレーター大寺聡さん

の世界をてんこ盛りした文学散歩は、十一月十八日開催（チラシを同封）。お早目のお申し込みを。ミニ西郷どんツアー、小水力発電の勉強会もお見逃しなく。

万葉集クラスは大伴家持生誕千三百年記念の特別編。お能クラスは十月二十一日に発表会参加。フランス文学「ゴリオ爺さん」、近代の小説は芥川龍之介「枯野抄」ほか、映画監督ベルイマン生誕百年記念シネトーク、ひまわり源氏は「初音」、きよら源氏は「匂兵部卿」、百人一首は僧正遍照、平家物語は巻第四イケメン競の登場、月の舟の宝・又吉&麗華コンビの合唱クラス、と月の舟の講座は十月も超豪華です。たくさんのご受講をお待ちしております。

そして、十月の月の舟には素敵なプレゼントが届いているはず。敬天愛人の実践の賜物、皆様の愛と勤勉のおかげさまで、月の舟に大輪の花が咲きます。すべてに感謝、感謝です。（みたけきみこ）



きりしま西郷どんコンサート 2018. 9. 22(土)

昼部:2:00~ 夜部:20:00~

於:アクティブリゾート霧島

出演者

- 又吉秀和(バリトン)
- 室屋麗華(ピアノ)
- 又吉のぞみ(ソプラノ)
- 玉川智美(バレエ)
- みたけきみこ(進行)
- 東川隆太郎(特別ゲスト)



西郷星煌めく夜に
きりしま西郷どんコンサート
開催日:9月22日(土) 2回公演 1部/14:00~ 2部/20:00~

会場/Active Resorts 霧島

主催/霧島市観光協会・霧島市文化振興課
協賛/霧島市観光協会・霧島市文化振興課・霧島市観光協会
後援/霧島市観光協会・霧島市文化振興課・霧島市観光協会

出演者
又吉秀和(バリトン) 室屋麗華(ピアノ) 又吉のぞみ(ソプラノ) 玉川智美(バレエ) みたけきみこ(進行) 東川隆太郎(特別ゲスト)

お問い合わせ
霧島市観光協会 TEL.0995-235-3816
アクティブリゾート霧島 TEL.0995-57-2111

小平社長の話は、地域のお金が今どこに流れているのか、から始まる。特にエネルギーを見ると、大きくは石油にしても天然ガスにしても、結果としては海外にお金が流れていく。鹿児島島で使った電気代は本社のある福岡に。そこから原料代が外へ出ていく。

だから地域でエネルギーを創出できる自然エネルギーは大変魅力がある。太陽光、風力、地熱、バイオマスなど。その中で環境負荷や投機経済に支配されにくい、安定的な水力の利用が一番ではないかと考える。それも農業水路を利用したような小さな発電設備で。

小さな工事なら地元土木業者の技術や資材で完結できる(大手ゼネコンの下請けでない)、技術力の蓄積もできる。

小さいので故障が起きても影響が小さい。復旧も早い。

何よりも地元のお金(電気使用料など)が地元に残る。小さな発電は大きな夢をはらんでいる。

今回は十月二十七日(土)です。



みどりの大学特別講座
小水力発電でなに?
小さな発電の 大きな流れ
九月十六日(土)
小平竜平(ひおき地域エネルギー)

本格的な小水力発電が始まった鹿児島県。なぜ今小水力なのか。十年の準備期間を経て地域エネルギーのあり方を提示。

昼の部も夜の部も大盛況でした。ご参加いただきました皆さま本当にありがとうございました。会場をご提供いただきましたアクティブリゾート霧島さん、お陰様で素晴らしいコンサートになりました。
 着物姿の学長、大島紬での麗華先生、アートフェスタ入賞作品を着込んだ又吉のぞみさん、早変わりの玉川智美さんと、衣装も見所でした。
 夜の部では、特別ゲスト東川隆太郎さんに大河ドラマ制作秘話を交えて、西郷星の話をしていただきました。いつ聞いても面白く。



演奏曲

「西郷どん」オープニングテーマ曲
 「篤姫」テーマ曲
 行きゆんにや加那
 薩摩兵児謡
 見上げてごらん夜の星を
 月の雫
 曼珠沙華(ひがんばん)
 糸
 やさしさかごしま
 (作詞 岡田哲也 作曲 久保禎)

コンサート&

霧島美味しいものツアー

同時に行われました美味しいものツアーも募集定員を超えてのご参加。
 霧島神宮参拝のあとは、お蕎麦のがまこう庵で昼食。イケメン店主のアラミニツ(シフォンケーキはお土産)、高千穂牧場ではソフトクリームで一息。牧場から目と鼻の先の都城ワイナリーで試飲を楽しみながら晩酌のワインの選定。きりしまストリートベーカリー(塩パンがお土産)から小谷トーフへ。事前注文の豆腐製品をピックアップ。おぼろとうふはそのなかでも人気商品。途中「きりしま西郷どんコンサート」に参加し、温泉にも浸からせていただいた、命の洗濯の一日でした。



本格的準備は6月から。時間と公演回数の変更などもあり、曲も流れを考えながら、変更、入れ替え。3日前、お彼岸のコンサートなので「ひがんばん」を追加しようということになり、曲進行の変更。語りから音楽の入り方、バレエはどの曲になど入念な打ち合わせをしました。さらに当日、玉川さんは外でのバレエを提案！夜のライトアップも急遽準備。おかげで皆さまには喜んでいただけたのではないのでしょうか。最高のメンバー「月の舟チームきよら」素晴らしい。



『西郷隆盛語録』を読む
 『遺訓』を読み終えたので、現在は漢詩を中心に読んでいます。第1, 2, 3火曜日午後2時からです。大河ドラマ「西郷どん」を最後まで楽しむ講座です。あと三ヶ月西郷三昧でいきましょう。

『百人一首』を読む
 日本文化のエキスが仕込まれた「百人一首」第1, 2, 3木曜午前11時。歌の意味、作者の来歴など四方八方から一首、一首を丁寧に読み解きます。まずは声に出して朗唱することから。



前回に引き続きアーサー・ミラー。不法移民を受け入れながら、密告してしまうエディ。父親代わりとして育てた姪キャサリンへの複雑な思い。演劇の古典形式を踏まえたのは、今作も同様。こうなったら全作品制覇をめざしますが、次回10月6日(土)は『須賀敦子の世界』です。

コバジュン教授の随談ブンガク全集
 アーサー・ミラー 『橋からのながめ』
 九月一日(土)
 小林潤司鹿児島国際大学教授

ボツワナで人気の観光地と言えば、オカバンゴ湿地帯とチョベ国立公園です。

オカバンゴ湿地帯は世界最大の内陸デルタで世界自然遺産に登録されていて、そこでは湿地帯特有の動物や鳥類を見ることが出来ます。

外国人観光客に人気のオカバンゴですが、湿地帯の宿舎に行くためには最寄りの飛行場からセスナのチャーター機で向かわねばならず、宿泊料金も一泊二〜四万円と高いため(宿舎によっては十万円以上)オカバンゴは全体として富裕層向けの観光地と言えます。

一方、チョベ国立公園はアフリカ大陸の中でも多くの野生動物が生息している地域として知られており、拠点都市であるカサネから国立公園入り口まで車で20分程度の距離にあるため、気軽に往くことが出来ます。また、世界三大瀑布の一つであるジンバブエのビクトリアの滝から車で一時間半程度の場所があり、ビクトリアの滝と合わせて訪問することが出来ます。繁忙期には日本人を含む多くの外国人観光客でこったがえします。

私たちは九月上旬に家族旅行でようやくチョベに行くことが出来ました。今回、私たちは四輪駆動車でドライ



水辺で休むバアッファロー



「おとうさん、たのしかたあねえ」



夕日とゾウの大群

ブしながら散策するサファリツアーとボートから動物を見るボート・クルーズの二つを楽しみました。チョベで気軽に往けるエリアではチョベ川が唯一の大きな水辺であるために乾期にはチョベ川に多くの野生動物が集まり、川沿いでのサファリやボート・クルーズで簡単に動物を見ることが出来ます。私達も野生のゾウ、ライオン、インパラ、バアッファロー、キリン、カバ、ワニなどに出会うことが出来ました。中でもアフリカ大陸全体で生息する三分の一がチョベにいますと言われているゾウを百頭以上見ました。ゾウの大群が同じ方向に向かって夕日に照らされながら歩く光景はうっとりしてしまふほど圧巻の景色でした。

私は息子が動物をたくさん見ることができて満足したのではないかとクルーズが終わった後に、息子に「今日は何を見たの?」と聞いたところ、「ふね〜」という意外な答えが返ってきて、思わず笑ってしまいました。息子は動物よりもボートがお気に入りだったようです。おそらく二歳半の息子は今回見た景色を大人になったときに覚えていないでしょうが、私にとっては、帰りに息子が言った「おとうさん、たのしかったあねえ」という言葉と共に目の前一面に広がるゾウの大群と自然は忘れられない景色となったのでした。

11月23日、24日 「きりしま月の舟マルシェ」

@霧島みたけさんげー

23日は、指宿市立図書館のブックカフェ

そらまMEN号が霧島みたけさんげーに来ます!

カフェ、野菜、手作り品の販売、ハーブ・香りの教室

紅茶会など開催予定。お楽しみに!



特定非営利活動法人 かごしま文化研究所(文学サロン月の舟・月の舟自由大学)

〒892-0838 鹿児島市新屋敷町14-17 1階

TEL 099-295-3816 FAX 099-295-3826

eメール mokka@po4.synapse.ne.jp ホームページ <http://tsukinofune.sakura.ne.jp/>
facebookの登録もしています。